

芳賀町建設工事等入札心得（電子入札）

（趣旨）

第1条 この心得は、芳賀町（以下「町」という。）の契約に係る芳賀町電子調達サービス（以下「電子入札システム」という。）を用いて行う一般競争入札及び指名競争入札（以下「競争入札」という。）を行う場合において、競争入札に参加しようとする者が、守らなければならない事項を定めるものとする。

2 入札その他の取り扱いについては、この心得に定めるほか、地方自治法（昭和22年法律第67号）、地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）、芳賀町財務規則（平成6年芳賀町規則第11号）、芳賀町建設工事等執行規則（平成9年芳賀町規則第16号）、その他法令にさだめるところによるものとする。

（入札の基本的事項）

第2条 入札参加者は、町から提示された図面、仕様書、内訳書、契約書案その他契約締結に必要な条件を検討のうえ、入札しなければならない。

2 前項の入札は、総価により行わなければならない。ただし、確認通知又は指名通知等において単価等によるべきことを指示した場合においては、その指示するところによる。

（入札の辞退）

第3条 入札参加者は、入札執行の完了に至るまで、いつでも入札を辞退することができる。

2 入札を辞退しようとするときは、入札締切日時の前までに電子入札システムを用いて辞退届を提出しなければならない。

3 入札を辞退したものは、これを理由として以降の指名等について不利益な取り扱いを受けるものではない。

（公正な入札の確保）

第4条 入札参加者は、私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律（昭和22年法律第54号）等に抵触する行為を行ってはならない。

2 入札参加者は、入札に当たっては、競争を制限する目的で他の入札参加者と入札価格又は入札意思についていかなる相談も行わず、独自に入札価格を定めなければならない。

3 入札参加者は、落札者の決定前に、他の入札参加者に対して入札価格を意図的に開示してはならない。

4 入札参加者は、入札前に他の入札参加者をさぐる行為をしてはならない。（

（入札）

第5条 入札参加者は、電子入札システムの入札書に必要な事項を入力し、記名若しくは押印に相当する電磁的記録による認証を付し、あらかじめ確認通知又は指名通知において示した入札締切日時までに入札書を提出しなければならない。

2 電子入札システムにより入札することを指示した場合は、紙にて提出することがで

きない。

3 入札参加者は、町が積算内訳書の提出を求めた場合は、町が指定する積算内訳書を提出しなければならない。

(入札書の書換等の禁止)

第6条 入札者は、その提出した入札書の書換え、引換え又は撤回をすることができない。

(開札)

第7条 開札は、あらかじめ指定した日時及び場所において行う。

(入札の無効)

第8条 次の各号のいずれかに該当する入札及び明らかに連合によると認められる入札は、これを無効とする。

(1) 入札に参加する資格のない者のした入札

(2) 電子入札システムの入札書が入札書締切日時までに、電子入札システムのサーバーに到達しない入札

(3) 入札書の記載事項が不明なもの又は入札書に記名若しくは押印に相当する電磁的記録の記録がないもの

(4) 電子入札システムの画面上に示された文字種、文字数、記入例その他の指定に従わないで入力した事項を含む入札

(5) 電子入札システムにおいて、必要項目を入力せず、又は不要項目を入力した事項を含む入

札

(6) 同一事項の入札について2通以上の入札書を提出した者のした入札

(7) 他人の代理を兼ね又は2人以上の代理をした者のした入札

(8) 入札書の金額の表示を改ざんし、又は訂正したもの

(9) 入札書にくじ番号の入力のないもの又は訂正したもの、数字が不明なもの

(10) 同一の入札書に2件以上の入札事項を連記したもの

(11) 最低制限価格を下回った金額で入札したもの

(12) 電子入札システムの不正利用及び電子証明書の不正使用により行った入札

(13) 前各号のほか、入札条件に違反したもの

(入札の取りやめ等)

第9条 入札参加者が連合し、又は不穩の行動をなす等の場合において、入札を公正に執行することができないと認められるときは、当該入札参加者を入札に参加させず、又は入札の執行を延期し、若しくは取りやめることがある。

(公正取引委員会への通報等)

第10条 入札参加者が連合し若しくは不穩の行動をなす等の情報があった場合又はそれを疑うに足りる事実を得た場合には、必要に応じ公正取引委員会に通報し、入札書及び工事費内訳書を提出する場合がある。

(落札者の決定等)

第 1 1 条 予定価格の制限の範囲内で最低の価格で入札をした者を落札者とする。

2 売却及び貸付けの場合においては、予定価格以上で最高の価格で入札をした者を落札者とする。

(最低価格の入札者以外の者を落札者とする場合)

第 1 2 条 工事又は製造・その他の請負に関する契約において、あらかじめ最低制限価格を設けたときは、予定価格の制限の範囲内で最低の価格で入札をした者を落札者とせず、予定価格の制限の範囲内の価格で最低制限価格以上の価格で入札した者のうち、最低の価格で入札をした者を落札者とする。

(再度入札)

第 1 3 条 開札をした場合において、各人の入札のうち予定価格の制限の範囲内の価格の入札がないとき（前条の規定により最低制限価格を設けた場合においては、予定価格の制限の範囲内の価格で最低制限価格以上の価格の入札がないとき）は、直ちに、再度の入札を行う。

2 再度入札に参加できる者は、その前回に入札に参加した者のうち、当該入札が第 8 条の規定により無効とされなかった者及び最低制限価格を設けた場合の最低制限価格以上の価格で入札した者（入札金額が最低制限価格を下回った者は無効とし、再度の入札に参加することはできない。）に限る。

3 前項の規定により再度入札に参加する者は、その前回の最低入札額未満の価格で入札をしなければならない。

(くじによる落札者の決定)

第 1 4 条 落札となるべき同価格の入札をした者が 2 人以上あるときは、当該入札者があらかじめ入札書に記入した「くじ番号」により電子入札システムにおいてくじ引きを行い、落札者を決定する。

(入札結果の通知)

第 1 5 条 開札した場合において落札者があるときは、その者の氏名(法人の場合は、その名称)及び落札金額を、落札者がいないときはその旨を、電子入札システムにより入札者に知らせる。この場合において、落札となった者には、電子入札システムで落札者となった旨を知らせる。

(入札参加資格等の制限)

第 1 6 条 次の各号の一に該当したと認められる者を、その事実があった後 3 年間に資格としないことがある。

(1) 競争入札において、その公正な競争を妨げた者又は公正な価格の成立を害し若しくは不正の利益を得るために連合した者

(2) 落札者が契約を締結すること又は契約を履行することを妨げた者

(3) 正当な理由がなくて契約を履行しなかった者

(契約書の作成)

第 1 7 条 開札の結果、落札者となった者は速やかに、契約書及び契約に必要な書類を作成し、記名押印の上、提出しなければならない。

2 契約書の提出があったときは、町長は当該契約書に記名押印し、その1部を落札者に返付する。

(契約保証金)

第18条 落札者は、芳賀町財務規則（平成6年芳賀町規則第11号）第81条の定めにより、契約保証金を納入しなければならない。ただし、同規則第81条第1項の規定に該当する場合は、その全部又は一部の納付を免除することがある。

第19条 前条の規定による契約保証金の代用担保と担保の価値及び担保の提供方法等は、芳賀町財務規則（平成6年芳賀町規則第11号）第81条第3項に定めるところによる。

(議会の議決を経なければならない契約)

第20条 工事又は製造の請負で予定価格が5千万円以上及び、動産の買い入れで予定価格700万円以上の契約については、議会の議決に付すべき契約及び財産の取得又は処分に関する条例（昭和39年3月23日条例第11号）の定めるところにより芳賀町議会の議決に付し、可決された後に契約を確定させる。

(前金払の額等)

第21条 公共工事の前金払の額は、芳賀町建設工事等執行規則（平成9年7月28日規則第16号）第14条の定めるところによる。

(前払金の請求)

第22条 前払金を請求しようとするときは、公共工事の前払金保証事業に関する法律（昭和27年法律第184号）第5条の規定に基づき登録を受けた保証事業会社と当該工期を保証期間とする同法第2条第5項に規定する保証契約を締結し、その保証証書を町に提出しなければならない。

(中間前金払)

第23条 前金払を行った公共工事については、契約金額の2割を超えない範囲で中間前金払をすることができる。

(指示)

第24条 この心得書の各条項の解釈又はこの心得書に明記のない事項については、町の指示によるものとする。